

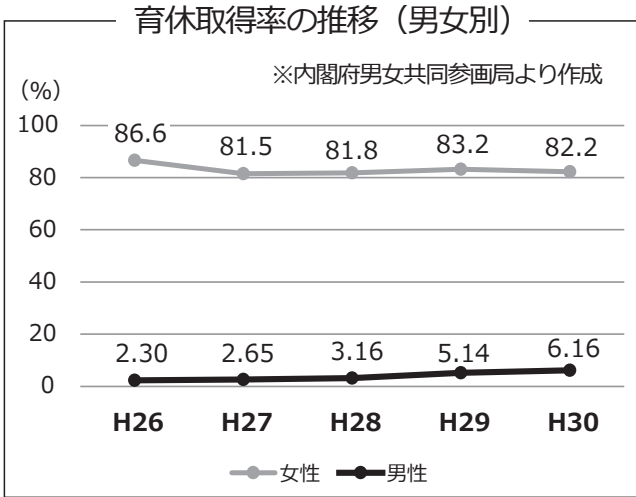
育児は「女性だけ」から「男女一緒に」

●問い合わせ 人権・男女共生課 (☎39-11105 ㊟37-1153)

育児・介護休業法では、男性にも育児休業(育休)の取得を権利として認めています(一部例外あり)。しかし、実際に取得するケースは1割を下回っています。取得について悩んでいる方も、その効果を知り、前向きに考えてみませんか？

育休の取得状況

日本は世界と比較しても非常に充実した育休制度が整っています。原則、子どもが1歳になるまでの間、取得することが可能です。



それにもかかわらず、男性の育児休業の取得率は、極めて低い水準にとどまっています(グラフ参照)。

男性が育休を 取得する効果

育休の取得により、本人、家族、会社、それぞれに良い効果があることが分かっています(厚生労働省、2017年)。

産後の女性の体は、ホルモンの急激な変化や睡眠不足等が原因で涙が出たり、イライラしたりする症状が現れます。重症化すると「産後うつ」に移行することもあり、産後女性の死因の一位は自殺となっ

ています。

この頃はパートナーや家族のサポートが特に必要な時期です。男性と一緒に育児をすることで不安の軽減につながります。

家族としては、育休取得の機会を生かし、今後の子育てについて、子どもが小さいうちに二人でしっかり話し合っていくことが、パートナーや子どもとの関係を深める上で重要です。

また、会社としては従業員から申し出があれば育休を取得させる義務があります。育休を取得しやすい会社には、優秀な人材が集まりやすかったり、従業員の離職防止につながったりと、人材確保に苦

育休を
取得した
男性の声



より働きやすい職場環境へ
.....
職場の理解もあり、育休を取得し、家族皆で過ごすことができました。この経験を生かして、他のスタッフも働きやすい職場の環境づくりに力を入れていきたいと思います。(小売業)

誰にとっても 暮らしやすい社会へ

もしあなたの中に「男性だから仕事」「女性だから家事や子育て」と思う気持ちがあれば、まず一度立ち止まって、性別で役割を決めていないか考えてみてください。

子どもの成長を間近に
.....
職場に迷惑をかけると思い、取得するか悩みましたが、親になる責任として取得しました。子どもの成長を間近に見ることができ、これからの人生のプラスになったと思います。(公務員)

効率的な仕事を考えるように
.....
復帰後は早めに仕事を切り上げ、なるべく家族の時間を持てるようにしています。効率的な仕事の仕方を考えるようになりました。パパになる人、皆が育休を取るべきだと思いました。(建設業)

性別で役割を決めつけることのない社会は誰にとっても暮らしやすい社会につながります。

